

| | | | | | | | | |
|------|----|-------|------------|---------|--------|----|-------|----|
| 科目名 | | 靴調整特論 | | | 授業の種類 | 講義 | 講師名 | |
| 授業回数 | 8回 | 時間数 | 15時間 (1単位) | 配当学年・時期 | 整形靴科2年 | | 必修・選択 | 必修 |

〔授業の目的・ねらい〕

足の疾患や変形について学び、それぞれのケースに適した調整方法などの知識と、調整技術を習得することを目的とする。また、フットプリントから得られる情報から適応する調整を正しく判断し、製作を進める技術を習得する。

〔授業全体の内容の概要〕

1日に1つの靴調整についてその適応・製作方法を学び、完成させる。まず講師が講義をし、その後製作のデモンストレーションをした後、学生は時間内にその製作課題を完成に向けて製作していく。製作途中、または完成後に講師がチェック・評価を行う。本実習では達成目標である2つの靴調整方法を学ぶ。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

- ①疾患に適した調整の判断ができるようになる
- ②バタフライロッカーバーの製作ができる
- ③強剛母趾ローリングの製作ができる
- ④1年次に学んだ健康靴調整方法を復習する

| 回数 | 講義内容 |
|----|--|
| 1 | 講義「フットプリントの見方と適応する靴調整」バタフライロッカーバーと強剛母趾ローリングの設計 |
| 2 | バタフライロッカーバーの製作(デモンストレーション:底切り～調整削り出しまで) |
| 3 | バタフライロッカーバーの製作 |
| 4 | 強剛母趾ローリングの製作 |
| 5 | 強剛母趾ローリングの製作 |
| 6 | 1年次の復習 脚長差調整 |
| 7 | 強剛母趾ローリング・バタフライロッカーバーの製作、脚長差調整 |
| 8 | アウトソールの接着・仕上げ(デモンストレーション:本底の接着と仕上げ) |
| | 定期筆記試験 |

〔 準備学習・時間外学習 〕

〔 使用テキスト 〕

| 書籍名 | 著者名 | 出版社 |
|----------|------|------|
| 整形靴の基礎知識 | 島村雅徳 | JESC |
| 配布資料 | | |

〔 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 〕

授業時の製作物で評価